

○水生生物モニタリング調査結果一覧（秋元湖H）

<秋元湖H 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
H-1	○	○	○	○	○	○
H-2	○	○	○	—	○	—

<秋元湖H 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質		底質			その他	
	緯度	経度	日	時刻(水)	時刻(泥)	水温(℃)	泥温(℃)	性状	色相	混入物	全水深(m)	透明度(m)
H-1(表層)	37.6575°	140.1264°	R7.6.20	08:39	08:53	22.0	9.4	軟泥	7.5Y4/2	植物片	14.6	4.5
H-1(下層)				08:35		10.3						
H-2(表層)	37.6616°	140.1226°		09:23	09:30	21.6	11.0	軟泥	7.5Y6/3	植物片	6.2	3.0
H-2(下層)				09:19		11.7						

<秋元湖H 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
H-1(表層)	37.6575°	140.1264°	R7.6.20	08:39	7.1	0.6	2.9	8.9	3.7	0.03	1.5	<1	1.0	N.D.(0.0014)	0.0032	—
H-1(下層)				08:35	6.7	0.9	3.7	9.4	3.3	0.03	2.0	4	3.4	N.D.(0.0014)	0.0054	0.0011
H-2(表層)	37.6616°	140.1226°		09:23	7.0	0.6	3.1	8.5	3.9	0.03	1.6	1	1.0	N.D.(0.0014)	0.0045	—
H-2(下層)				09:19	6.4	0.5	3.2	3.5	4.4	0.03	1.6	3	2.8	N.D.(0.0015)	0.011	—

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<秋元湖H 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)		
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)	
H-1	37.6575°	140.1264°	R7.6.20	08:53	6.7	198	67.6	10.0	34.0	2.510	2.420	0.0	0.0	0.1	1.8	73.7	24.4	0.010	0.43	7.9	610	1.1
H-2	37.6616°	140.1226°		09:30	6.6	185	69.4	12.0	54.0	2.420	0.0	0.0	0.1	0.4	72.7	26.8	0.011	0.43	3.6	370	—	

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<秋元湖H 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
H-1 H-2 H-3	湖内	37.6575° 37.6616° 37.6653°	140.1264° 140.1226° 140.1329°	R7.6.19	藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン(浮遊藻類)	—	0.013	—	—	—	計	N.D.	Cs-134 (2.6)	Cs-137 (2.3)	—
				R7.6.26	節足動物	軟甲	エビ	ウナギ	<i>Pacifastacus leniusculus trowbridgii</i>	ウチダザリガニ	8	0.23	成体	—	—	14	N.D.(1.5)	14	—	
				R7.6.20	軟体動物	二枚貝	イガイ	イガイ	<i>Sinanodonta woodiana</i>	ドブガイ	1	0.10	成体	—	軟体部	N.D.	N.D.(0.62)	N.D.(0.57)	—	
				R7.6.26	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	8	1.4	成魚	不明消化物	内臓除去	23	N.D.(1.4)	23	0.64	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	12	1.6	成魚	不明消化物	内臓除去	18	N.D.(1.2)	18	0.91	
				R7.6.20	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	1	2.3	成魚	不明消化物	内臓除去	24	N.D.(1.7)	24	0.87	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	ニゴイ	5	0.45	未成魚	不明消化物	内臓除去	13	N.D.(1.4)	13	—	
				R7.6.26	脊椎動物	硬骨魚	サケ	キュウリサケ	<i>Hypomesus nipponensis</i>	ワカサギ	39	0.15	成魚	—	—	5.8	N.D.(0.49)	5.8	—	
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Salvelinus leucomaenis</i>	イワナ	4	0.50	成魚	ワカサギ	内臓除去	13	N.D.(1.2)	13	—	
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou masou</i>	サクラマス	1	0.13	未成魚	ワカサギ	内臓除去	10	N.D.(1.9)	10	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サメ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	7	1.4	未成魚/成魚	スズキ、ウチダザリガニ	内臓除去	41	N.D.(1.5)	41	0.95	
				H-3	流入河川	37.6650°	140.1392°	R7.6.19	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物(藻類を含む)	—	0.0082	—	—	計	28
節足動物	昆虫	カゲラ	カゲラ						<i>Acroneuria</i> sp.	キカワゲラ属	95	0.022	幼虫	—	—	N.D.	N.D.(2.1)	N.D.(2.0)	—	
節足動物	昆虫	カゲラ	カゲラ						<i>Calineuria</i> sp.	モンカワゲラ属										
節足動物	軟甲	エビ	テナカエビ						<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	74	0.043	未成体/成体	—	—	3.8	N.D.(0.93)	3.8	—	
脊椎動物	硬骨魚	カジカ	カジカ						<i>Cottus pollux</i>	カジカ	8	0.044	未成魚	—	—	3.9	N.D.(0.77)	3.9	—	
脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ						<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	2	0.083	未成魚/成魚	空胃	内臓除去	7.8	N.D.(1.6)	7.8	—	
脊椎動物	硬骨魚	サケ	キュウリサケ						<i>Hypomesus nipponensis</i>	ワカサギ	24	0.027	未成魚/成魚	—	—	3.4	N.D.(1.3)	3.4	—	
脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ						<i>Salvelinus leucomaenis</i>	イワナ	9	0.34	未成魚	カクツトビケ科	内臓除去	4.8	N.D.(0.66)	4.8	—	
脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ						<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	2	0.060	未成魚	—	—	6.5	N.D.(0.95)	6.5	—	
脊椎動物	両生	無尾	アマガエル						<i>Buergeria buergeri</i>	カジカガエル	3	0.026	成体	—	—	4.7	N.D.(1.6)	4.7	—	
粗粒状有機物	—	—	—						—	水底落葉等	—	0.24	—	—	—	6.8	N.D.(0.38)	6.8	—	
H-4	湖内 および 周辺河川	37.6573°	140.1042°	R7.6.20	脊椎動物	両生	有尾	イモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	アカハライモリ	6	0.045	成体	—	—	1.3	N.D.(0.93)	1.3	—	

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。